

ライフケアガーデン熱川

稲葉 哲也(食養科:調理師)

功 績 「ご入居者の声」に誠実に耳を傾け、食に関する満足度向上のために、迅速且つ的確に対応する「新システム」(具体的には入居者のリクエストを吸い上げる「リクエストボックス」の設置とそのリクエストに応えるメニューの提供)構築に果敢にチャレンジし、成功させた功績

推 薦 者 長谷川千代(事務課長)

推 薦 理 由 突き詰めれば「ご入居者の希望を叶えていく」。これがご本人はもちろん、そのご家族に対する施設で働く全ての職員の責務であり、誠意であると思います。

それを自身の持つスキルと情熱で即座に形にして見せた彼の功績は、たとえ何気ない企画の一つに過ぎないとしても、しっかりと健育会の理念に則ったものであり、「自身の課の在り方」そのものを変えていこうとする「チャレンジ精神」に溢れたものであったと感じたため、推薦させていただきました。

内 容

「食」が大きな魅力の一つとして売り出している当ホームにおいては、「食養科」の担う役割と責任は年々大きなものとなっております。

そのような中、稲葉は「昔、実家が寿司屋」というバックボーンが培った職人気質と社交性の高さを活かし、「ご利用者満足度の向上」に日々励む施設を代表する料理人の一人です。

そんな彼の発案により、ご入居者の「感想」ではなく、もっと直接的な「リクエスト」を頂くために、昨年末頃より食堂にメニューの「リクエストボックス」を設置しました。

もちろん、ただ募集するだけではなく、それこそサムゲタン・ムサカなどといった海外物から、クックパッドにもない、ご入居者の「子供の頃によく食べたおふくろの味」に至るまで、多様なリクエストに、高い完成度で応えてきました。

これに関して、過去にリクエストを頂いたご入居者の個人ブログにこのような文言が書かれておりました。(ほぼ原文そのまま)

『私がここで強調したいのは、食養科は大変改善意欲が旺盛で、私がリクエストした料理もかなり対応して頂きました。(中略)「献立リクエストボックスの設置」は小さな一歩ですが、入居者には大きな飛躍です。食養科の皆さんありがとうございます。』

実際にここまで「大きな声」を出して頂けるご入居者は稀なのかもしれません。しかしこれは間違いなく彼が「愛情を持って親身に対応した結果」であり、それが「確かに伝わった証」でもあります。

先日開催された「寿司パーティー」においても「寿司職人:稲葉」の名前と腕前は、多くのご入居者に知れ渡ることとなりました。現在稲葉は「裏方」としてだけでなく、食養科の一人一人が表舞台でご入居者と直接繋り、よりご満足頂くための仕組みの構築に取り組んでいます。